



## KENYA EMBASSY TOKYO

ケニア共和国大統領は、2020年8月1日に国際線の運航を再開することを指示しました。政府は、関係機関との協議のもと「新型コロナウイルス公衆衛生危機における航空便運航プロトコル」を作成しました。これは、国内線・国際線の運航が安全であり続けることを保証するガイドラインとなります。

詳細は、下記のとおりです。

### 1. PCR 検査陰性証明書

すべての国際線の乗客は、**搭乗 96 時間以内**に取得した PCR 検査陰性証明書の携行が必要となります。

### 2. PASSENGER LOCATOR CARD の記入

すべての渡航者は、感染追跡調査のため、航空会社が提供する「旅客ロケーターカード(PLC)」に下記情報を記入する必要があります。

- 氏名
- 国籍
- パスポート番号
- 緊急連絡先
- 座席番号
- 滞在中連絡可能な電話番号

### 3. 検温と追加検査

すべての乗客に対して検温が行われます。体温が 37.5° C 以上の乗客は、公衆衛生当局の指示に従って、空港検疫サービスによる追加検査を受ける必要があります。

### 4. 渡航者の隔離について

下記に該当する渡航者は、入国後の**隔離が免除**されます。

- 体温が 37.5° C 以上ではない。
- 継続的な咳、呼吸困難、及び、その他のインフルエンザのような症状がない。
- 搭乗 96 時間以内を取得した PCR 検査陰性証明書を保持している。
- **新型コロナウイルス感染リスクが低から中程度と見なされる国からの渡航者**

隔離免除となる感染リスクが低から中程度と見なされる国(2020年7月30日発表)

- |        |         |
|--------|---------|
| ● カナダ  | ● モロッコ  |
| ● 韓国   | ● 日本    |
| ● ナミビア | ● ジンバブエ |
| ● ウガンダ | ● エチオピア |
| ● 中国   | ● スイス   |
| ● ルワンダ |         |



## KENYA EMBASSY TOKYO

(下記リストは 2020 年 7 月 31 日付けで追加)

- アメリカ合衆国（カリフォルニア州、フロリダ州、テキサス州を除く）
- 英国
- フランス
- ドイツ
- オランダ
- カタール
- アラブ首長国連邦
- イタリア

隔離免除となる国の見直しは、保健省によって毎日実施されます。隔離対象の渡航者は、ケニア政府指定施設または自宅にて現行のガイドラインに従う必要があります。

### 5. 機内感染発生時の対応

機内で新型コロナウイルス感染が報告された場合、または、感染を疑う症状が発生した場合、症状のある乗客の座席前後 2 列以内の乗客は検査のため隔離されます。検査結果が陰性だった場合、隔離措置が解除されます。

### 6. 航空会社の条件

疫学的状況の変化により旅行状況が変化する場合がありますので、ご自身で常に最新情報を確認するよう努めてください。旅行前に航空会社にも相談してください。

詳細については、下記のケニア運輸省のウェブサイトをご参照下さい。

[COMMUNIQUE ON THE RESUMPTION OF INTERNATIONAL AIR TRAVEL ON 1ST AUGUST 2020](#)

**KENYA EMBASSY TOKYO**  
**31<sup>st</sup> JULY 2020**